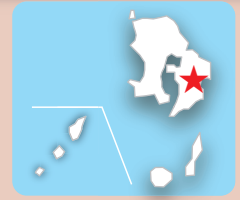


鹿児島堀口製茶(有) (鹿児島県志布志市)

実証面積：116ha

実証課題名 IoT技術・ロボット化技術を活用した大規模スマート茶業一貫体系の実証

構成員 農研機構果樹茶業研究部門、鹿児島堀口製茶(有)、宮崎大学、鹿児島県、松元機工(株)、(株)日本計器鹿児島製作所、(株)寺田製作所、ウォーターセル(株)、テラスマイル(株)



背景・課題 ○高齢化と労働力不足が深刻。茶産業維持のためには規模拡大が必要
○持続可能な大規模経営を行うためには作業のロボット化、自動化、情報の見える化によるスマート茶業の実現が必要



本実証プロジェクトにかける想い

私たちは日本最大級の茶園、製茶施設において、茶園管理のロボット化、畑かん施設の多目的有効活用、経営の見える化で、新しい茶業の形を実現します。



導入技術動画

- 目標**
- スマート散水装置の活用による水管理技術の確立
 - 茶園管理のロボット化による労働力、作業時間、作業強度の大幅低減
 - 各種情報管理システム技術の確立

実証する技術体系の概要

要素技術 ①スマート散水装置、②ロボット茶園管理機、③茶生産工程管理システム、④各種情報管理システムと情報の見える化

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる！」ポイント	①②④	①②④	①②③	②④	①③		②③④				②	①

①スマート散水装置
(日本計器鹿児島製作所)

②ロボット茶園管理機
(松元機工)

③生葉荷受け情報管理
(寺田製作所)

④情報の一元化と見える化
(ウォーターセル・テラスマイル)

問い合わせ先

- ▶**実証代表** 農研機構果樹茶業研究部門スマート農業実証事業窓口
e-mail: smart-nifts@naro.affrc.go.jp
- ▶**視察等の受入について** 鹿児島堀口製茶 e-mail: smart-nifts@naro.affrc.go.jp